

## 県内事業者向け「副業セミナー」開催レポート

P1-3

<第1回 副業セミナー>

○日時令和2年9月29日(火) 13:30~15:00

○会場田村市テレワークセンターテラス石森コワーキングスペース

P4-5

<第2回 副業セミナー>

○日時令和2年10月21日(水) 13:00~14:30

○会場NPO法人子育て支援コミュニティプチママン

P6-8

<第3回 副業セミナー>

○日時 令和2年11月12日(木) 13:30~15:00

○会場 会津喜多方商工会議所

P9-10

<第4回 副業セミナー>

○日時 令和2年12月9日(水) 14:00~16:00

○会場 いわき信用組合本店(いわき市)

P11-12

<第5回 副業セミナー>

○日時 令和2年12月23日(水) 13:30~15:00

○会場 会津若松市生涯学習センター(會津稽古堂) 研修室1

## 第1回 事業者向け 副業セミナー 開催レポート

○日時 令和2年9月29日（火） 13:30~15:00

○会場 田村市テレワークセンター テラス石森 コワーキングスペース

田村市にあるテレワークセンター テラス石森において、「採用にかわる副業人材の活用について学ぶ」と題してセミナーを開催しました。

外部人材を活用したいが正規採用をするにはコストがかかる、専門スキルを持つ人材を起用したいが適切な人材からの応募がないなど、経営者が抱える課題を副業人材でどのように対応できるかを学ぶ内容として実施しました。



事務局から制度説明をした後、県が今年5月に立ち上げた副業人材マッチングサイトの利用者体験談として、県内事業所の経営者と副業人材の方へオンライン形式でインタビューを行いました。

最初に話をお聞きしたのは、郡山市の株式会社遠藤自動車商会の遠藤社長と副業人材として関わった市川航介さんです。

遠藤社長は、マッチングサイトを利用したきっかけとして、「会社の経営規模を拡大していくにあたって個人事業主の自分一人では限界を感じていた。そこで、スキルのあるプロ人材がサポートしてくれたらとの思いで副業人材を募集しました」とのこと。一方で、実際に遠藤自動車商会の人材募集案件にエントリーした市川さんは、「サイトを拝見して、面白そうなプロジェクトだなあと思って参加してみました」と、最初から福島で副業したかったというよりは、単純に遠藤社長の思いに興味があったことが理由だったようです。

実際に副業を受け入れてみてどうだったかお伺いすると、遠藤社長は「我が社のことながら、客観的に分析ができるようになって、経営の「見える化」が図られたことで業務管理が楽になりました」との感想を話してくれました。

副業が終わった今でも遠藤社長と市川さんのやり取りは続いているようで、市川さんとしても「これからも遠藤社長のやりたいことを実現したいと考えています」とのことで、副業をきっかけとした継続的な関わりを垣間見ることができました。



続けて、会場であるテラス石森を運営する一般社団法人 Switch の久保田代表理事からもコメントをいただきました。

久保田さんも県のマッチングサイトで副業人材を募集しており、「法人を立ち上げて間もなかったのに、課題解決をするのに相談できる人が身近にいなかった」と、社団法人の代表としての悩みがあったようです。どんな人材を求めているのかお伺いすると、「労務関係の人と情報発信のイロハを教えてくれる人です。実際に副業人材の方とオンライン会議などでやり取りしてみて思ったことは、かまえてしまうとなかなか進まないのでも、まずは『どうしたらいいですか?』と聞いてみるのが早いなと思いました。副業はコスト的な負担も少なく、ある意味お試しとしても利用しやすいと思います」とのこと。Switch で募集したプロジェクトでマッチングされた副業人材については、「経歴を見ただけでびっくりするほどの実績がある優秀な方だったので、最初、副業として成り立つのか不安もありましたが、やってみると視線をしっかりとこちら側に合わせてくれて、大変やりやすかった」と笑顔で話してくれました。



最後に、オンライン講話で株式会社リクルートキャリアの狩野美鈴さんから、「はじめての副業人材活用～成功のコツ～」をテーマにお話いただきました。

狩野さんからは「東京以外では、人材の確保が難しくなっています。これからますます副業人材を採用する会社が増えていく」と、コロナ禍における社会状況も踏まえて、今後当たり前に副業を活用する時代が来ると、データと資料を使いながら説明してくれました。特に はじめて副業人材を活用する場合は、「始まってからトラブルにならないように、副業人材と業務委託契約を結ぶまでのお互いのすり合わせがとても重要」とのことで、お互いの話し合いで「お願いする業務内容」「納品物」「納期」「会議・連絡方法」などは事前に決めておくことが大切だと貴重なアドバイスをいただきました。



講話終了後の質疑応答においても、「複業と兼業の違いは？」「副業を導入するにあたっての諸々の課題は？」などの質問があり、ご参加いただいた皆さんの関心の高さがうかがえました。

以上

## 第2回 事業者向け副業セミナー 開催レポート

日時 令和2年10月21日（水） 13:00～14:30

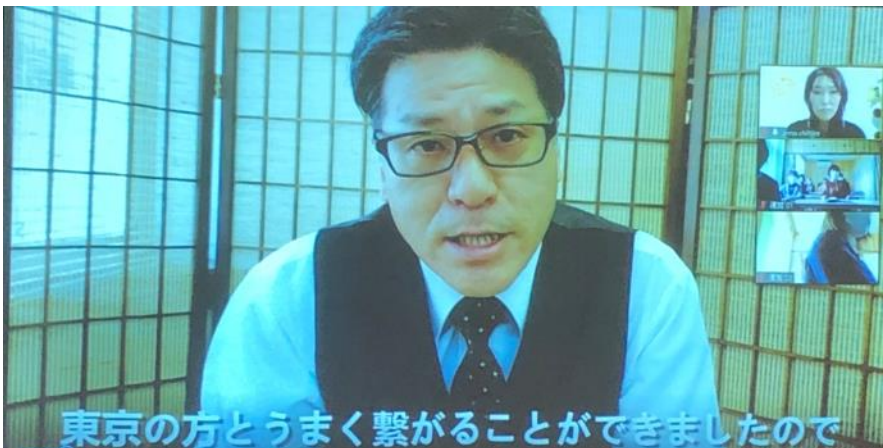
会場 NPO 法人子育て支援コミュニティプチママン

郡山市のNPO法人子育て支援コミュニティプチママンにおいて、県内のNPO団体等にお集まりいただき、第2回副業セミナーを開催しました。



県側からの制度説明の後、県で制作した副業人材マッチングサイト利用者の体験談として、郡山市の株式会社 Regalo（レガーロ）の松浦代表取締役から動画メッセージをいただきました。

レガーロでは、婚活から終活までをサポートする企業として、設立当初から定期的にセミナーやイベントを開催しています。自社のPR強化のため、SNSでの情報発信について社員の知見を深めたいとの理由から副業人材を募集しました。



ビデオ映像では、副業人材からアドバイスしていただく前のInstagram画像と、アドバイスをいただいた後のInstagram画像をビフォー・アフターで表示して明確な違いがあったことを示すなど、とても説得力のある内容でした。

松浦代表は「SNSはどうしても自己流になってしまう傾向があり、自分で四苦八苦するよりも専門家へアドバイスを求めた方が圧倒的に早く、確実に一定の成果が出る」とお話をされていました。

その後、オンライン講話として、出産・子育て・介護などのライフイベントと「働くこと」の両方に取り組む人をサポートするNPO法人ArrowArrow（アローアロー）の海野代表理事から、「はじめての副業人材活用～NPOや子育て中の個人事業主が副業とどう関わる？」と題して、複数の名刺を持つご自身の経験についてや外部人材と一緒に仕事をする際の工夫点などについてお話いただきました。



講話の途中、海野さんから参加者の皆さんに自己紹介を求めて今回のセミナーに参加した理由をお聞きするなど、コミュニケーションを取りながら講話が進められていきました。海野さんは、「小規模なNPOでは、人はいないけれど、やることは一杯あるという状態がよくある。そんなときに、自分たちだけではできないことを副業人材と一緒に取り組むことで、いろいろな課題が解決しました。仕事には、お金だけではない大切なこともあって、副業人材との関わりには出会いもあるので、まずは、こんなことで困っていますと声をあげることが大切」とお話をされていました。

質疑応答では、参加者の方から「そもそも自分のところの何が課題なのか見えてこない部分がある」、「今日の話は目から鱗だった。自分たちの活動の幅が広がる新しい世界があるんだなと感じた」など率直な感想が多く、参加者の皆さんの副業に対する理解が深まったようでした。

### 第3回 県内事業者向け「副業セミナー」

○日時 令和2年11月12日（木） 13:30～15:00

○会場 会津喜多方商工会議所

会津喜多方商工会議所（喜多方市）において、第3回県内事業者向け「副業セミナー」を開催しました。

副業という言葉はよく耳にするが実際に活用するにはどうしたらいいのかわからない、事業課題をどのように切り分けしていいのかわかっているなど、事業所側が副業人材の受け入れを試みるときにぶつかる壁にどう対処するか、具体的な手法を学ぶセミナーとなりました。



事務局から福島県副業人材マッチングサイトについて説明後、利用者の体験談として、NPO 法人あたご（南会津町）の馬場康德さんにお話をいただきました。

NPO 法人あたごは、障がい者の自立・支援をサポートする団体で、南会津の杉を利用した割り箸や添加物を使用しないドライフルーツなどの加工食品を製造・販売しています。今後は、通販サイトを立ち上げてオンラインでの新たな販路開拓を事業課題として、全国に「あたご」ブランドを広げていくために副業人材を募集しました。

馬場さんからは、パワーポイントを投影しながら、生産活動として割り箸の選定・袋詰め作業や食品製造加工、農作業する様子などが紹介され、今後、持続可能な経営のためにも商品の認知度を高めることで収益に繋げていきたいとの思いから、「福祉もビジネスなんです。障がい者の雇用を確保しても、そこから収益を出さないと会社が潰れてしまう。また、少しでも収益を上げていくことが、障がい者の自立にもつながっていくんです」と熱意あるメッセージを参加者に伝え、これからの福祉の姿を見据えた講話となりました。現在、NPO法人あたごでは、Webやデザインの分野で活躍する2名の副業人材と業務委託契約を締結し、オンラインでの打ち合わせを重ねつつ、定期的に副業人材の方が南会津での現場を訪問するなど、Withコロナにも適応した働き方でプロジェクトが進んでいます。



最後に、一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリアフリーランス協会の平田代表理事によるオンライン講話を行いました。講話は「With/ Afterコロナを生き抜く新たな人材活用の潮流」と題して、多くの会社員が副業に挑戦する理由、コロナ禍における意識変容、自営型テレワーカーの活用事例など幅広い内容でお話いただきました。

平田さんからは「副業というのは、雇用契約が発生しない働き方で、自由度が



多い分きちんとした業務委託契約などの取り決めが大切。お互いがWinWinに仕事を行うために最初のすり合わせをきちんと行っていきましょう」とのアドバイスをいただき、副業に関するメリットのみならず、リスク回避のための注意点や把握しておくべき法律等についても丁寧に解説していただきました。

## 第4回 県内事業者向け「副業セミナー」

○日時 令和2年12月9日（水） 14:00～16:00

○会場 いわき信用組合本店（いわき市）

いわき信用組合による御協力のもと、令和2年度第4回「副業セミナー」を開催しました。今回は経営者等の皆さまに会場にお越しいただいたほか、オンラインでも多くの事業者の方に御覧いただきました。



事例紹介では、福島県副業人材マッチングサイトの利用者として、株式会社長久保食品（いわき市）の篠原社長に登壇していただきました。

篠原社長がサイトを利用したきっかけは、「長年、漬物を製造販売している会社で、近年の健康ブームから自社でも塩分を控えた商品を多く開発しています。そこで力を入れているのがピクルスの製造です。自社ブランドとして『おこさん』というネーミングでブランディング・拡販するために、通販サイトの有効活用に向けたアドバイザーとして副業人材を募集しました」とのこと。最終的に長久保食品では、大手広告代理店に20年以上勤務し、現在はフリーランスでコンサルティング活動をしつつ、大学の講義でマーケティングを教えるなど幅広く活躍される人材と業務委託契約を締結し、副業プロジェクトが進められています。篠原社長からは「副業人材の受け入れまだ始まったばかりですが、今後の展開が楽しみです」と期待を込めてお話いただきました。



オンライン講話では株式会社リクルートキャリアの狩野美鈴さんから「はじめての副業人材活用～成功のコツ～」をテーマにお話いただきました。

狩野さんからは「今、東京以外の地域では人材の確保が難しくなっています。これからますます副業人材を採用する会社が増えていくのは間違いないでしょう」と、コロナ禍における社会状況も踏まえて、今後当たり前前に副業を活用する時代が来ると、データや資料を使いながら説明していただきました。特に、はじめて副業人材を活用する場合は「始まってからトラブルにならないように、副業人材と業務委託契約を結ぶまでのお互いのすり合わせがとても重要」とのこと、お互いの話し合いで「業務内容」「納品物」「納期」「会議・連絡方法」などを事前に明確に決めておくことが大切だとのアドバイスがとても印象的でした。



## 第5回 県内事業者向け「副業セミナー」

○日時 令和2年12月23日（水） 13:30～15:00

○会場 会津若松市生涯学習センター（会津稽古堂） 研修室1

会津若松市にある生涯学習センター（会津稽古堂）において、「採用にかわる副業人材の活用について学ぶ」と題してセミナーを開催しました。

外部人材を活用したいが正規採用をするにはコストがかかる、専門スキルを持つ人材を起用したいが適切な人材からの応募がないなど、経営者が抱える課題を副業人材でどのように対応できるかを学ぶ内容として実施しました。



福島県が令和2年5月に開設した「副業人材マッチングサイト」について事務局から説明した後、サイトの利用者体験談として、一般社団法人未来の準備室（白河市）の理事長 青砥和希さんにオンライン形式でお話を聞きました。

青砥理事長は、マッチングサイトを利用したきっかけとして、「自社の事業に4つの部門があり、業務が煩雑になってしまったことから、統一的なブランディングが必要と感じて副業人材を募集した」とのこと。実際に複数名から応募があり、最終的に契約に至ったのは、東京の大手教育関係の会社で働き、広報・企画戦略立案を得意とする50代の方でした。当面は週1回程度でオンラインのミーティングを行っていく予定で、青砥さんは「トップに立つ人が、忙しさにかまけて目先の事ばかりを考えていると、今後の方針に関わる判断が遅くなる。週1回、客観的な視点を持つ社外の人材と将来的な話をするすることで、新しい見方ができて今を冷静に判断できるから、副業人材とのミーティングはとても有意義な時間になっている」と話してくれました。



最後に、オンライン講話として、株式会社みらいワークス SkillShift（スキルシフト）の鈴木秀逸さんから、「地方の中小企業にこそ知ってほしい副業人材の活用術」をテーマにお話いただきました。

鈴木さんからは「地方の中小企業が抱える経営課題の多くが、専門性のある人材がいないことで解決できない状態にある。しかし、専門性のある人材を採用しようと思っても、そもそも近くにそういった人材がいない。そんなところこそ、副業を活用すべき」とのアドバイスがあり、「大手企業が続々と副業を解禁しているのは、単に副業の解禁ではなく、人材の解禁と捉えてほしい。今まで大手企業にしかいなかった優秀な人材の能力を、これからは中小企業でも活用できる時代が到来した」と、Withコロナでの対応が求められる現代の潮流も踏まえてお話いただくことができました。

